

そろそろ田植えの準備も始まるという時期でしたが、長年香川県の教育界で活躍され、香川の地理学研究に貢献されている出石一雄先生のお話しをお聞きすることができます。

主催 高原水車友の会
高松市林町 農協林支店2階にて



「第1回水車講座」開催 自然から見た 高原水車立地の特性について

講師 出石一雄先生

香川地理学会副会長
元紫雲中学校長

5月31日（土）午後2時～4時

高原水車

友の会通信（第2号）

高原水車友の会
高松市六条町
高原水車場



出石先生は前日来風邪気味で薬を飲みながらのご出講でした。咳が止まつたのでと少々声の調子が悪いとおっしゃりながら、これまでの地理研究の成果と高原水車の地理的性格を結びつけたお話しを披露してくださいました。私たちにもわかりやすくその「名講義」に聞き入りました。

先生は今回の発表のため、新たにフィールド調査や聞き取りを試みられ、その途中経過を今後の話題提供の一助となればとの思いでお話し申し上げると前置きされました。全35枚のスライドから、最初に「高原水車」が古川水系に属すること、その本川が新川であると地図で示されました。

高原水車の位置



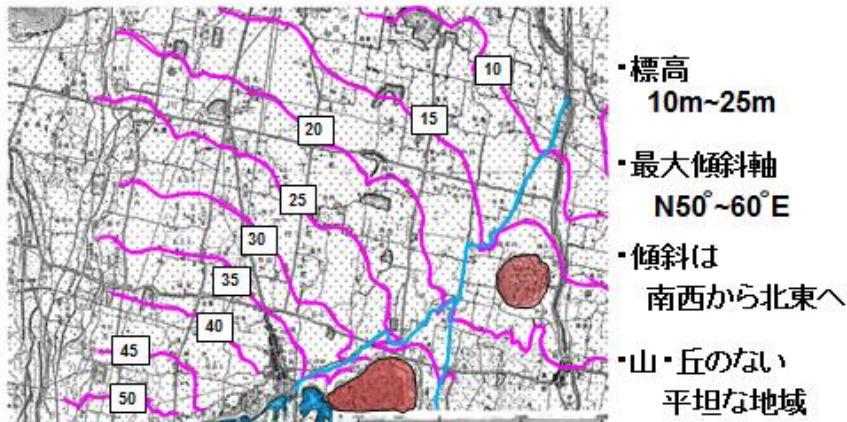
古川水系に属する 高原水車

本川	新川	18.7 km
1次支川	春日川	15.1 km
2次支川	古川	6.6 km
3次支川	小作川	3.0 km
2次支川	朝倉川	6.1 km

（本文中の図面・写真は出石先生スライドより）

I 林地域の概観

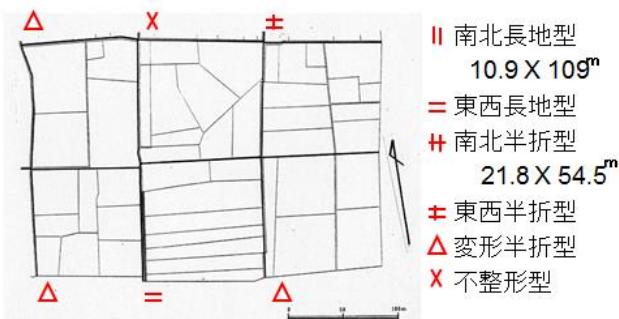
冬は西風がきつく、かつて軍用飛行場で大きく改変されたふるさと林地区とはどんなところかあらためて学ぶことができました。まず地形は香東川の扇状地として南西から北東へ傾斜している平坦地であるということです。



り、六条地区はその氾濫（原）平野といえま
そして上林・林地区は香東川の扇状地であ

II 林地域の条里型地割

(1) 条里型地割の基本的形態



□ 林地域の条理型地割

しかしさらに詳しく地割りのなかみを見ていくと場所により異なる特徴が浮かび上がります。出石先生は、それを6つの型に分類して林地区を分析しました。

す。河川の堆積作用により形成された土地です（「土地条件図」（国土地理院発行s1）。

また、むかしの地名が残る字（下所、天皇、下青木など）の区画は方形型に区画され、さらに田んぼは典型的な坪区画（1坪は109m四方）の条理型地割りがおこなわれています。

III 水車地域の地割分布図

(1) 古川左岸の氾濫低地



地割り分布図によると水車地域は、×不整形になります。古川左岸の氾濫低地の残象地形と定義されました。土地の形から三角地です。

IV 水車地域の地割分布図

写真で見てもよくわかります。

(3) 三角地が低地であることの証左

地上げしている宅地



北部に発達する段丘



このような地形を前所有者の高原忠雄が
どのように見ていたのか紹介されました。
古川は仏生山町魔池・平池のいてめより
川添村香伯に至る延長4km余の春日川
支流をいう。途中重蓮寺池及び三谷三郎
池の各々いてめ及び開（ゆる）の水、つ
まり余水の放水路であるが途中三ヶ所

に用水掛井手があり——両岸に竹木等が
密生し川の中、昼なお暗い谷川であった。
つまり地形上一番低地を自然に流れ、両
側は階段状の圃地になっていた。ここが
所謂坦水地帯をなし、下流地帯が一時に
増水することを調節する役割をした。

昭和34年「春日川支流古川改修工
事についての陳情書（控）より

このように水車用地は、古川が蛇行してい
る攻撃面近くの左岸にあり、しかも低地であ
ることから、洪水など自然との共存を
迫られるわけですが、出石先生が、良寛の言
う「災難に逢う時節には、災難に逢うがよく
候……是はこれ災難をのがる妙法にて候」
という自然との共存思想を引いてこられた
事には驚きました。確かに年に1～2回は水
車場から下の台所は床下浸水、低い水田は池
のようになりました。北側の段丘の上から人
がこちらを見ていたのを覚えています。家族
は文句を言わず、水の引くのを待っています。
た。子どもだったので、苦労はよくわかりま
せんでした。堰を作ったり浸水を防ぐ対策は
立てていたのですが、毎年、無堤河川であ
る古川の竹藪から静かに浸水されることに
耐えていたのでしょう。そのせいか古川の性
質をよく観察していたようにも思えます。

に用水掛井手があり——両岸に竹木等が
密生し川の中、昼なお暗い谷川であった。

IV 水車の水源と新井手(しんいで)

次にいよいよ水源のお話しになります。

溜池を尋ねて撮影されたきれいな写真を
たくさん見せていただきました。

水車で使う水は、古川水系（仏生山台地よ
り）と春日川水系（植田丘陵より）の二つの
水源を持ちます。古川の水は530m上流で
分水し新井手へ、春日川の水はサイフォンで
古川へ、さらにサイフォンで新井手へ流れで
きます。

(2) 古川水系

A 平池ウテメからの落ち水は前池へ

平池の全景



平池のウテメ



古川水系の水では平池、前池、住蓮寺池、

三郎池等の溜池のウテメからの余水が水車に使われました。春日川水系では神内池や松尾池など四箇池から主に灌漑期に農業用水の一部が使われるのが慣行でした。

溜池の余水である古川の水量が豊富な時期は4月、5月に限定され、四箇池では灌漑期の6月から10月に流れが多くなりますが、冬季は水不足になります。明治41年の早い時期から発動機を導入した理由もそのようなところにあります。

高原水車が中掛け水車で落差約1.5mを

(3) 春日川水系

A 神内池とウテメ

神内池全景



ウテメから春日川へ



確保するため①平坦地に立地する水車としては長い導水路が必要になり、②そのため、取水口より古川に沿った530m上流左岸で分水し、約210m導水したのち、灌漑水路としての新井手を流し、さらに320m北流させて取水口へと流している、という結論になります。

分水地点の様子は石を並べて洲のようになっていたと古老の方にお聞きすることができます。昔話にまださむらいが水車をやつていたとき、刀で竹藪を切り払いながら上流へ水を仕掛けに行つたという話と符号するでしょうか。

講座の結論として、本水車場が位置する林地域は、条里型地割が発達（西部は空港建設で改変）し、しかも現在は著しく都市化が進んでいる。水車場を取り巻く地域には、今に旧田園地域としての貴重な残象的（取水口から放水口まで）景観が見られるなど、原風景が残っている、と締めくられました。

先生は2時間近くの講演を終え、継いで

「森の水車」の歌を流されました。奥様がきれいなソプラノで歌われたものでした。参加者の方の感想に「会の時にはいつも聞きましたよ」とあり、楽しい水車講座となりました。

（講演の記録DVDは友の会にあります。）



講演中の出石一雄先生



農協林支店にて水車講座開催

（平田恵美記）

水車を回すには、まず下流を浚渫しなくちやと、水車講座の翌日6月1日、2日とやる気十分の「水路グループ」が朝から道具持参で集まつた。熱中症にならないように休憩を取りながら、幅70cm、深さ30cm、延長80mの溝掘りに取りかかつた。一日目は半分、2日目には、貫通し、暗渠に溜まつた水を流してみた。何とも言えないせせらぎの音がして勢いよく水が流れた。新しい川ができたような気がした。手作業土木工事の醍醐味と言ふべきか、一同静かに歓声を上げた。暗渠にあつた水量に限りがあつたので、残念ながら最末のヒューム管までは届かなかつた。それでも尊い一步になつたと思う。

水路浚渫にとりくむ



森野・植松・増田・高見・佐藤の各氏



日陰の作業は助かる。



石垣水路の幅1mです。
森野さん、たばこが離せません。



排水口直下を浚渫する。



きれいに掘りましょう。



昔の谷川は土が堆積して道になっていた。川底から岸まで高さ約1.7mはあったのだが。



一日目の作業はここまで。
古川の川底は香東川と同質の小石であるが、白っぽい砂しか出てこなかった。

作業の様子を撮った動画もあります。数分間ですが感動的です…。



ここまで水を流そう。
左の大きな土管は大洪水に備えたものとか。
右土手下を排水用ヒューム管が通っている。

水の到達点はここまでか。
左から佐藤、増田、植松。

2日目。音を立てて水が流れる
佐藤さんは流れる音に聞き入る。

佐藤、堀家、植本他が見学。

「五郷」にちなんで今年五月五日に落成式
が行われた。観音寺市大野原町五郷地区の人
達が地域活性化のシンボルにしようと、前田
川沿いの元落合集会所前に水車小屋を建設
した。直径4mの上掛け水車である。小屋内
には米と麦の搗き臼が動いている。落成式に
は五郷活性化センターに多くの人が詰めかけた。「五郷里づくりの会」が平成23年末
から取り組んできた。

五郷の里水車見学



高原水車友の会活動日誌及び予定

4月23日 仏生山水車水路痕跡見学

5月3日 友の会通信創刊号発行

5月5日 観音寺「五郷の里」水車見学

5月31日 「第1回水車講座」開催

6月1日 旧古川水路浚渫

6月2日 旧古川水路浚渫

6月28日 水車場公開 企画委員会

7月16日 檻旗作製

7月24日 材木モロダ調達に行く

7月26日 水車場公開 企画委員会

8月3日 親子体験学習打ち合わせ

8月30日 親子体験学習「讃岐の水車小屋
を訪ねる」瀬戸内海歴史民俗資料館と共催

9月27日 水車場公開

*毎月末(金)(土)は活動日。そのうち(土)
は水車場公開日



幟

高原水車友の会
連絡先..0877-33-4601

堀家